

地方共助社会づくり懇談会in岡山

# 『意志ある寄付で社会を変える』



公益財団法人パブリックリソース財団  
専務理事 岸本幸子



公益財団法人 パブリックリソース財団  
Public Resource Foundation

- NPO法人パブリックリソースセンターが設立母体
- 2013年1月に内閣府より公益認定
- 291名の個人・法人のご支援で税額控除資格を取得した市民財団
- 全国、海外からもご寄付を受け入れ、社会課題の解決を目指して、資金・マネジメントの両面から支援を行う、成果志向のユニークな財団
- 財団の「顧客」は寄付者、NPOや社会企業家は寄付による社会課題解決の「パートナー」

# 日本の寄付市場

## 日本の寄付は米国の20分の1

### 個人寄付の3分の1は宗教関連

	寄付金支出額					個人寄付の寄付者率と平均寄付支出額	
	総額	個人	法人	遺贈	財団	寄付者率	平均寄付支出額
日本 (2011年)	1兆1,831億円	5,182億円 (42.0%)	7,168億円 (58.0%)	N.A	N.A	29.40%	14,273円
アメリカ (2012年)	3,162億ドル	2,289億ドル (72.4%)	182億ドル (5.8%)	234億ドル (7.4%)	457億ドル (14.5%)	57.90%	2,183ドル

出所：寄付白書2013

注：日米比較は1ドル=80円(2012年)として計算



# 1 人はなぜ寄付をするのか、寄付がなぜ必要か



## 田口佳史さん(老荘思想家)

「徳とは他に対して自己の最善をつくること。他を助けるということは、我々のDNAの中に根付いています。寄付は寄付(よりつき)。茶席で寄り付きに入れば、この先何が起こるだろう、誰と出会うだろう。わくわくします。楽しみと喜び、多様なものの出会いと化学反応を巻き起こすような寄付を期待しています。」

## Five Ways to Well-being(NEF、英国)

Connect, Be Active, Take Notice, Keep Learning and **Give**

## リン・トウイスト(「ソウルオブマネー」筆者)

お金は水と同じ。生きる上で必須だが、一か所にとどまれば腐り、流れれば大地を潤す。

# 3つの段階で寄付者をサポート

東日本大震災被災地支援基金  
教育基金、アート&ヘルス基金  
ふるさと、Women help Women など

思いをこめた  
基金の設定

寄付者が社会の課題を知り、  
社会貢献の方針をたてる

情報収集、分析  
現場訪問、ボランティア  
サロン、ドナーサークル

いつでも、だれでも  
思い立ったときに寄付  
できる環境を提供

最初の一步を踏み出す  
オンライン寄付サイト  
Give One(ギブワン)



# PRFが目指す寄付スタイル

寄付者の感じる満足	財団が提供するサポート
やりがい	寄付者意志の実現、参画
手ごたえ	助成先団体へのマネジメント支援 成果評価のフィードバック
信頼感	社会課題調査 寄付適格性審査 しっかりした組織基盤



## 2. 初めの一步

寄付を日常生活に

オンライン寄付サイト  
ブック募金  
自動販売機



# オンライン寄付サイト Give One (ギブワン) <http://www.giveone.net>

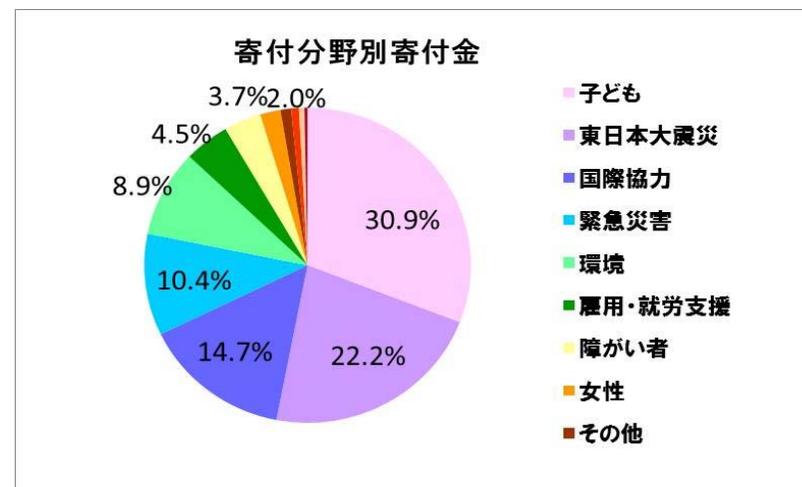
## 2013年度実績

オンライン寄付サイトGive One (ギブワン) では、2013年度は、31,734,364円の寄付をお預かりし、27,224,859円を登録団体に助成いたしました。

	寄付金額	助成金額
クレジットカードやペイジー、ジャパンネット銀行を通じたオンライン寄付	23,033,977円	19,578,890円
上記オンライン寄付以外の寄付	8,700,387円	7,645,969円

## 分野別寄付

多彩な分野から寄付者が選んで寄付できるのが、Give One(ギブワン)の特徴です。2013年度は、「子ども」31%、「東日本大震災被災地支援活動」22%、「国際協力」15%に多くのご寄付が集まりました。





## 2. 初めの一步

### 「BOOK募金」開始

不要となった本・CD・DVD・ゲームなどでNPOを支援

### 「寄付つき飲料自動販売機」

企業や団体が設置した、寄付金つき飲料自動販売機の売り上げの一部をご寄付いただき、東日本大震災被災地の復興を支援する活動に助成しました。

#### 東日本大震災広域避難者支援基金

助成先

特定非営利活動法人こどもプロジェクト(東京)  
東日本大震災ボランティアバックアップセンター(新潟)  
認定NPO法人IVY(山形)

#### 「東日本大震災復興支援基金」

助成先

財団法人たんぽぽの家 東日本大震災復興支援事業(宮城県)  
特定非営利活動法人ビーンズふくしま(福島県)  
特定非営利活動法人遠野まごころネット(岩手県)





### 3. 信頼される寄付のために

NPOの信頼性向上、NPO評価

# Give Oneの寄付適格性審査 NPOマネジメント診断シート





## 4. 社会課題の解決に向かって

### テーマ基金の設定

# 教育基金 アート&ヘルス基金



## 4. 社会課題の解決に向かって

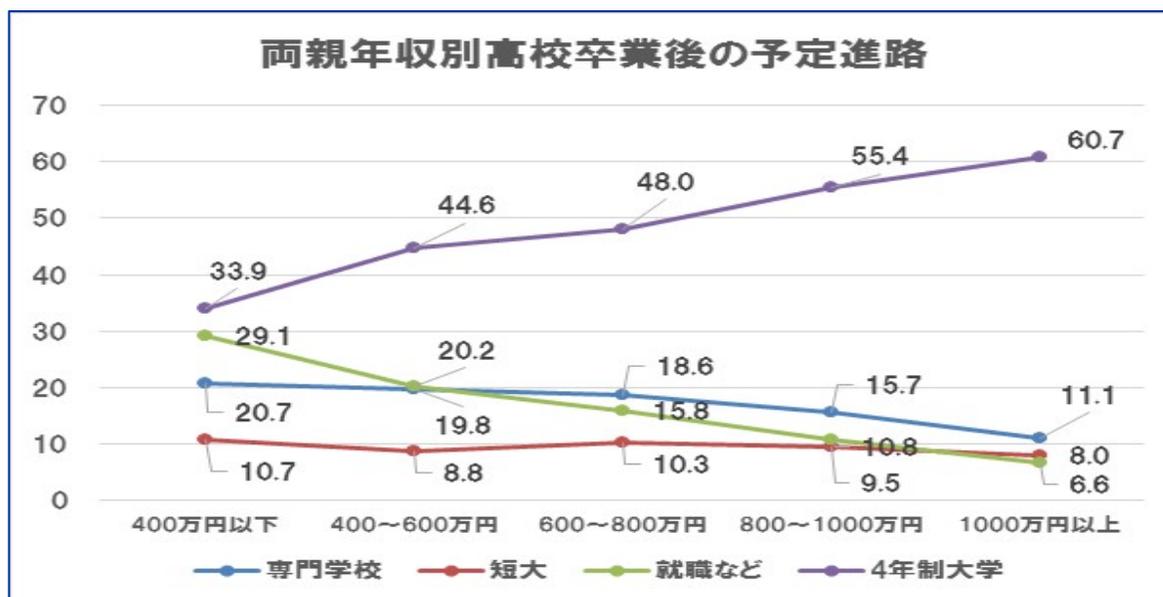
### 教育基金

親世代の経済格差が、子どもの将来に影響を及ぼしています。教育の課題解決に取り組むNPOや社会起業家を応援するために「教育基金」を設置し、2013年度は7件284万円のご寄付を受け入れました。



2013年度 助成先  
NPO法人Teach For Japan  
「Next Teacher Program」

次世代のリーダーとなる資質をもった人材を選抜・育成し、正規の教員として学校現場へおくりだします。





## 4. 社会課題の解決に向かって

### アート&ヘルス基金

生きることを支えるアートを広げ、  
病院や福祉施設、学校、コミュニティなどの  
ケアの場の質を変えていきます。

#### <プログラムの対象となる2領域>

- ①病や障がい、老いと向き合って生きていく人を支える「ケアとしてのアート」
- ②東日本大震災被災地におけるアートを通じたコミュニティの復興を応援



## 4. 社会課題の解決に向かって

アート&ヘルス基金 2014年度支援先

①認定NPO法人ファミリーハウス「うさぎさんのおうち」壁面

②のぞみ福祉作業所「のぞみの森プロジェクト」(宮城県南三陸町)





## 5. 手応えのある寄付の実現のために

成果を出すことに資金仲介者として貢献する

寄付・社会貢献活動の効果測定  
SROIによる成果評価  
NPO・社会起業家の  
キャパシティブUILDING



## 5. 手応えのある寄付の実現のために

### 寄付や社会貢献活動の成果評価、投資効果を測る

社会的事業の成果を見える化し、寄付者とNPOのコミュニケーションを深いものにし、よりよい成果の実現を目指して、成果評価手法の開発や調査研究に取り組んでいます。



パナソニック株式会社「Panasonic NPOサポートファンド」成果評価  
JTインターナショナル財団(JTIF)「東北支援活動」のSROI測定



## 5. 手応えのある寄付の実現のために

### 組織診断

パブリックリソース財団では、NPO法人を対象とした組織診断手法を開発しています。明確な診断を出発点に、組織基盤強化のコンサルティング実施します。



**認定特定非営利活動法人NPOカタリバ 常務理事 / 事務局長  
岡本 拓也氏**

「パブリックリソース財団の組織診断を受けたタイミングは、ちょうどカタリバが震災後の東北にてコラボスクール 事業を展開してから1年後で、組織もメンバーも急拡大している最中でした。成長に伴う組織上の課題が様々な形で顕在化する中で、職員全員を巻き込んで組織診断を実行したことにより、経営と現場とが共通の課題認識を持つことができ、その後の組織変革への礎となりました。あらためて素晴らしいサポートに感謝致します。」



## 5. 手応えのある寄付の実現のために

### マネジメント研修

＜通信学習講座「NPO実践マネジメント入門」の実施＞

＜オンライン寄付調達研修会の実施＞



NPO実践マネジメント入門講座 通信講座

主催：公益財団法人 パブリックリソース財団  
協力：パナソニック株式会社

**通信講座で学ぶ！  
NPO実践マネジメント入門**

企業とNPOの**マネジメントの違い**に焦点をおいて、**テキストとケーススタディ**で実践的に学ぶ講座です。  
通信講座だから、**時間や場所の制約がなく学べます!**

2014年度は8月と1月に開講予定です。

社会的課題の解決に取り組むNPOや社会的事業体のマネジメント全般に関する基礎的な知識を身に付ける講座です。  
テキスト学習と、科目別に2種類の課題に取り組む通信制の講座となっています。  
通信講座なので、時間や場所の制約がなく学ぶことができ、普段忙しくてなかなか学ぶ機会のない方に特におすすめです。

### 中間支援団体へのノウハウ移転

特定非営利活動法人 杜の伝言板ゆるる

代表理事 大久保 朝江 氏

「今回の組織診断のノウハウ移転事業は、私共にとってタイムリーな機会となりました。現在、中堅スタッフも組織診断ができる人材になってもらうために育成に励んでいるところです。今後、当法人の強力な事業に育てたいと考えています。」





## 6. 社会価値を創るグッドカンパニーとともに

企業の戦略的な社会貢献活動、CSR活動の支援

CRM（売上連動型の寄付）  
職場募金  
ボランティア  
企業のリソースを活かした貢献



## 6 グッドカンパニー とともに

### 未来につなぐふるさと基金

#### キャノンマーケティングジャパン株式会社

使用済みカートリッジの本数やコピー紙の売上げに連動した寄付や寄付つき自動販売機からの寄付を基金に積み立てて、環境や生物多様性の保全を応援

#### 助成先

霧多布湿原ナショナルトラスト

アサザ基金

グラウンドワーク三島

西条・山と水の環境機構

美ぎ島宮古グリーンネット

白神山地を守る会

くまの木里の暮らし

野原村元気づくり協議会

どんぐりネットワーク

共存の森ネットワーク

風土人

里山倶楽部

白干潟を守る会



アサザ基金



くまの木里の暮らし



風土人





## 6. グッドカンパニー とともに

# 東北の未来をつくる女性と子ども応援プロジェクト

### 株式会社 フヨウサキナ

チャリティバザー等の売上をもとに基金を創設。また、被災地の女性や子どもたちを支える4団体に対し、総額1,280万円の助成を実施。

#### 助成先

認定特定非営利活動法人IVY

特定非営利活動法人カタリバ

特定非営利活動法人グラウンドワーク三島

一般社団法人ふらっとーほく



IVY



カタリバ



グラウンドワーク三島



ふらっとーほく



## 6. グッドカンパニー とともに

### 東北「社会起業家」応援ファンド

#### 日本興亜損保株式会社

日本興亜損害保険株式会社が実施したお客さまの「Eco-Net約款」等のご利用に応じた寄付をもとに実施。被災地の復興を目指す11名の社会起業家を応援。  
コンサルティングなどマネジメント支援も提供



#### <支援先>

赤坂 智子さん	坂井 弘美さん	磯脇 賢二さん
大橋 雄介さん	久保田 靖朗さん	佐々木 真さん
西本 芳浩さん	深尾 尚子さん	松本 俊彦さん
三井 俊介さん	向田 麻衣さん	



## 6. グッドカンパニー とともに

### 社員募金を活かす

#### 日本興亜おもいやりプログラム

日本興亜損害保険株式会社グループ役職員の有志が毎月100円の寄付を行い、その同額の会社拠出を原資として行う社会貢献プログラムです。同プログラムの支援対象としてふさわしい団体を選ぶお手伝いをしています。



SNS研修

## コース・リレーテッド・マーケティングの企画

#### エイブルアート年賀状

株式会社プリプレス・センターと協働し、寄付金付き年賀状を企画しました。2014年の干支である「馬」をテーマにした障がい者の方のイラストを使用したデザインで、年賀状1枚につき10円が障がい者アートの支援に使われます。





## その会社らしい社会貢献、CSRを

社員参加推進プログラム  
With アクセンチュア株式会社

東日本大震災被災地視察コーディネート  
With クラブツーリズム株式会社

CSR 推進のためのダイアログの実施  
With 一般社団法人CSRレビューフォーラム  
グローバル・コンパクト・ジャパン・ネットワーク

## 次の一歩へ

○「ゴールデン・エイジ」の社会貢献を支援

○メモリアル基金

一人ひとりの人生を完結させるような寄付の実現

○資産寄付

不動産、株式などの寄付の受け入れと活用

○社会投資型の基金

「寄付」＋ 出資、融資、投資など多様な社会的資金創出

○資金の提供とマネジメント支援、インパクト評価を有機的

につなぎ、市民財団として独自の付加価値を提供する